

ピックアップ

シヨベル備えた 倉庫お披露目



B&G財団の支援で完成 災害時の活動拠点に

市が公益財団法人B&G財団から支援を受けて整備を進めていた防災倉庫が、大橋地区の石巻地区消防本部隣に完成しました。併せて土砂や倒木の撤去など災害時の緊急対応に必要な油圧シヨベルと、それを載せて運ぶスライドダンプカー、救助艇各1台、チェーンソーなどが配備されています。財団は防災拠点と自治体相互の支援体制づくりを後押ししており、機材は市内外の災害で役立てられます。2月2日には齋藤市長と財団の菅原理事長が防災に関する協定書に調印し、配備機材のお披露目式もありました。

☎ 危機対策課(内線4309)



いしのまき圏域SDGsパートナーセミナー

エスディー・ジーズ

17 パートナーシップで目標を達成しよう



Sustainable (サステイナブル:持続可能な)
Development (ディベロップメント:開発)
Goals (ゴールズ:目標)

SDGs (持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

SDGsの達成に向けた取り組みは、各企業や団体においても企業経営における重要な取り組みの一つとなっています。今回は、パートナー企業を対象に、SDGsについて理解を深めることを目的としたセミナーを開催しましたので紹介します。

☎ SDGs移住定住推進課(内線4224)

第1部 企業・団体が取り組むSDGs



第1部では、アサヒユアス株式会社のローカルSDGs専任リーダー・金沢様より「企業・団体が取り組むSDGs」と題して話がありました。世界的な気候変動に対処するため、私たちがどのようにSDGsに取り組むべきか、またアサヒグループ全体で工場のグリーン電力活用や容器包装の改善、環境保全活動など多岐にわたる取り組みについて話がありました。

第2部 パートナー企業などの取組紹介



第2部では、パートナー企業などの取り組みの紹介として、団体で実施しているSDGs推進の取り組みについての紹介がありました。



特定非営利活動法人やっぺす共同代表理事高橋様からは、女性の活躍推進、子育て支援や女性相談窓口など地域課題に関する取り組みの紹介がありました。



株式会社サンエー取締役管理部長後藤様からは、レジ袋削減、古紙・ペットボトル回収や買い物困難者への移動販売など地域貢献に関する取り組みの紹介がありました。



一般社団法人石巻海さくら代表宮城様からは、ボランティアによる海中清掃や海岸清掃など環境美化活動に関する取り組みの紹介がありました。

SDGs パートナー募集中!!



市では、SDGsの普及啓発や達成に向けた取り組みの推進を図るため、企業・団体をいしのまき圏域SDGsパートナーとして登録しています。随時募集していますので、気軽に問い合わせください。



みんなのた場

今も現役 海の仕事 家族と幸せに暮らしたい



佐藤 とうりんぞう
佐藤林蔵さん

(北上町十三浜大室) 94歳

今年6月で95歳になる北上町十三浜大室の佐藤林蔵さんは、現役で海や畑の仕事をしており、ウニとアワビの時期には息子さんと一緒に漁に出ています。おとしに入院して1年ほど仕事を休んでいるだけに、「家族みんな病気をせずに幸せに暮らしたい」と願っています。

酒を飲まず、甘い物が好き。「体が丈夫になる」と言い、他人の倍くらい牛乳を飲みます。大食いはしませんが、気に入った物はゆつくりとかんで味わいます。息子さんには「100歳まで生きさせる」と言われているそうです。

約13年前の東日本大震災の時は行政区長をしていました。大きな地震後、外出先から大室漁港の目の前にあった自宅に戻ると、妻らがあり、すぐ近くの高台の神社へ避難を急がせました。想像



以上の津波で自宅が津波で流されましたが、家族は無事でした。現在は集落の集団移転団地に自宅を再建し、妻と長男、次女と4人で暮らしています。

退院後は車の運転をやめ、高い所にある団地を下って漁港周辺をよく散歩しているそうです。くわを持つ畑仕事も、自宅跡の作業場でアワビ漁のための手仕事もしています。無理をせず、「ここまででしたら次の日にする」と計画的に動いています。

船を流された震災後の2、3年は漁ができませんでしたが、「津波は怖くない」と言います。「地震があつたら、すぐにおかにおか上がって逃げるだけ。命さえあれば、船はまた買える」が教訓です。



127

宮大工の仕事―住吉大嶋神社の復興―

石巻市文化財保護委員 小野寺 脩



私は宮大工の会社を営んでいます。宮大工は、神社や仏閣などの建築や修復に携わる仕事で、古代から受け継がれている職人です。

住吉の大嶋神社は、市内でも有数の古い歴史を持つ社ですが、東日本大震災で大きな被害を受け、私たちは再建の仕事を任せられました。仕事に従事した職人達のほとんどが地域の人間です。彼らは「解体が一番大切なんだ」と、ホコリだらけになって、被災した部材を一つ一つ剥がし、ナンバーを付け、

幾度もチェックしていきました。二軒や、扇垂木と呼ばれる軒先の屋根組は特殊な様式で、寸法もそれぞれ異なるため、できるだけ細かく記録を残しました。また、被災した鐘楼堂(鐘撞き堂)の移動の際には、心配で眠れない日が続きました。

神社や仏閣などの古い建築物は、先人達の「知恵」の結晶です。被災した文化財建造物の再建には、地元からの温かい寄附や、さまざまな応援が必要不可欠ですが、実は被災した地元の技術者も、全力を挙げて取り組んでいたのです。

生涯学習課
(内線5055)

包括連携協定の取り組みを紹介します

市では、地域が抱える課題解決や、市民サービスの向上などを目的に、幅広い分野において、民間企業や大学、団体などと包括連携協定を締結しています。令和6年2月末時点で、27者と協定を締結し、今後も連携を広めていきます。

イオン株式会社

■締結日 令和2年4月14日
「いしのまき萬画WAON」カードを活用した観光の振興や環境保全活動などに取り組んでいます。

<主な取組>

- ・シージェッター海斗を印刷した「いしのまき萬画WAON」カードの発行(当該WAON利用額の一部を市に寄付)
- ・南浜、渡波、長浜海岸での清掃活動
- ・新型コロナワクチン接種会場提供(イオンモール石巻)
- ・市内店舗を活用した広報協力(ポスター、パンフレットなどの掲示)
- ・市イベントへの会場提供(SDGsフェス、防災フェア、トレイルPRイベントなど)



▲SDGsパネルの掲示(イオンモール石巻店)



▲渡波海岸での清掃活動



市ホームページ

現在の包括連携協定の締結状況は、市ホームページをご覧ください。
図 政策企画課(内線4213)

河北 冬が旬のせり鍋PR

上品の郷で創作コンテスト



道の駅上品の郷で1月14日、第1回新春せり鍋コンテストが行われました。冬が旬の特産品である「河北せり」の普及を目指した催しで、市内の事業者6チームが鹿や鯨肉、ホヤといった地元食材と組み合わせた創作鍋を振る舞いました。来場者は200円で6種類の鍋を一度に味わうことができ、お気に入りの1杯に投票。独特の歯ごたえと香りでお腹も心も満たしていました。

Topic of town まちの話題



石巻 適度な運動と食生活大事

市民食育健康フェス

第10回石巻市民食育健康フェスティバルが1月27日にあり、会場のマルホンまきあーとテラスに食や健康に関する約10の体験・展示のコーナーが並びました。石巻赤十字病院産業医の荒川梨津子先生による生活習慣病予防の講話もあり、聴講した市民に「適度な運動と、食べ過ぎずバランスの良い食生活に気を付けてください」などと助言していました。



桃生 4年ぶりスポットライト

桃生町長生大学発表会

高齢者が学び、集う「桃生町長生大学」の成果発表会が1月17日、桃生公民館で開かれ、健康づくり「元気アップ」「カラオケ」「書道」の各趣味の教室に参加する約40人がステージに立ちました。発表会はコロナ禍をはさんで4年ぶりです。スポットライトを浴びた参加者は、久しぶりの緊張を楽しみながらこれまでの取り組み成果を発揮し、いきいきと輝いていました。



牡鹿 水のカーテンで延焼阻止

文化財を守る防火訓練

第70回文化財防火デーに合わせ、令和6年1月27日に給分浜にある国指定重要文化財の木造十一面観音立像と県指定文化財持福院観音堂で防火訓練が実施され、見学者も合わせて120名が参加しました。通常のホースを使用した消火訓練のほか、水幕により文化財への延焼を阻止する訓練も行われ、消防署と消防団の機敏な動きに、見学者も頼もしさを感じていました。



河南 駐在所杯綱引き・縄跳び大会

地域のお巡りさんが審判

第37回河南地区駐在所杯争奪綱引き・縄跳び大会が2月4日に広瀬小学校講堂で行われました。駐在所の警察官が審判を務める全国でも珍しい大会です。地区内のスポーツ少年団が参加し、綱引きは1チーム10人編成、縄跳びは団体戦の長縄跳びと個人戦を繰り広げました。綱引きは野球スポ少の須江小クラブが優勝しました。



雄勝 そば打って和気あいあい

男の介護教室で体験

石巻市社会福祉協議会雄勝支所主催の「男の介護教室」が1月16日、雄勝公民館で開かれました。70~80代の男性12人が保健師の栄養講話に耳を傾け、適度な運動とバランスの良い食事、趣味などを通じた社会参加の重要性を学びました。その後は、地元職人や宮城手打ちそば研究会のメンバーから手ほどきを受けて、和気あいあいとそばうち体験に取り組みました。



北上 育てたお米でお餅づくり

北上小・お餅パーティー

北上小学校の3年生が地域の人たちを招待し、お餅パーティーを開催しました。北上小学校では、児童たちが地域の人たちともち米を栽培してきました。お餅パーティーでは、収穫したお米を使って餅つきを行い、できあがったお餅を地域の人たちと一緒に食べました。その他にも、児童たちは、出し物や昔の遊びを通じて、地域の人たちと交流を深めました。

